

検 証：
倒産企業の財務特性と銀行の貸出行動

2002年12月

内閣府
大村・楠美・水上・塩貝

検証目的と検証データ

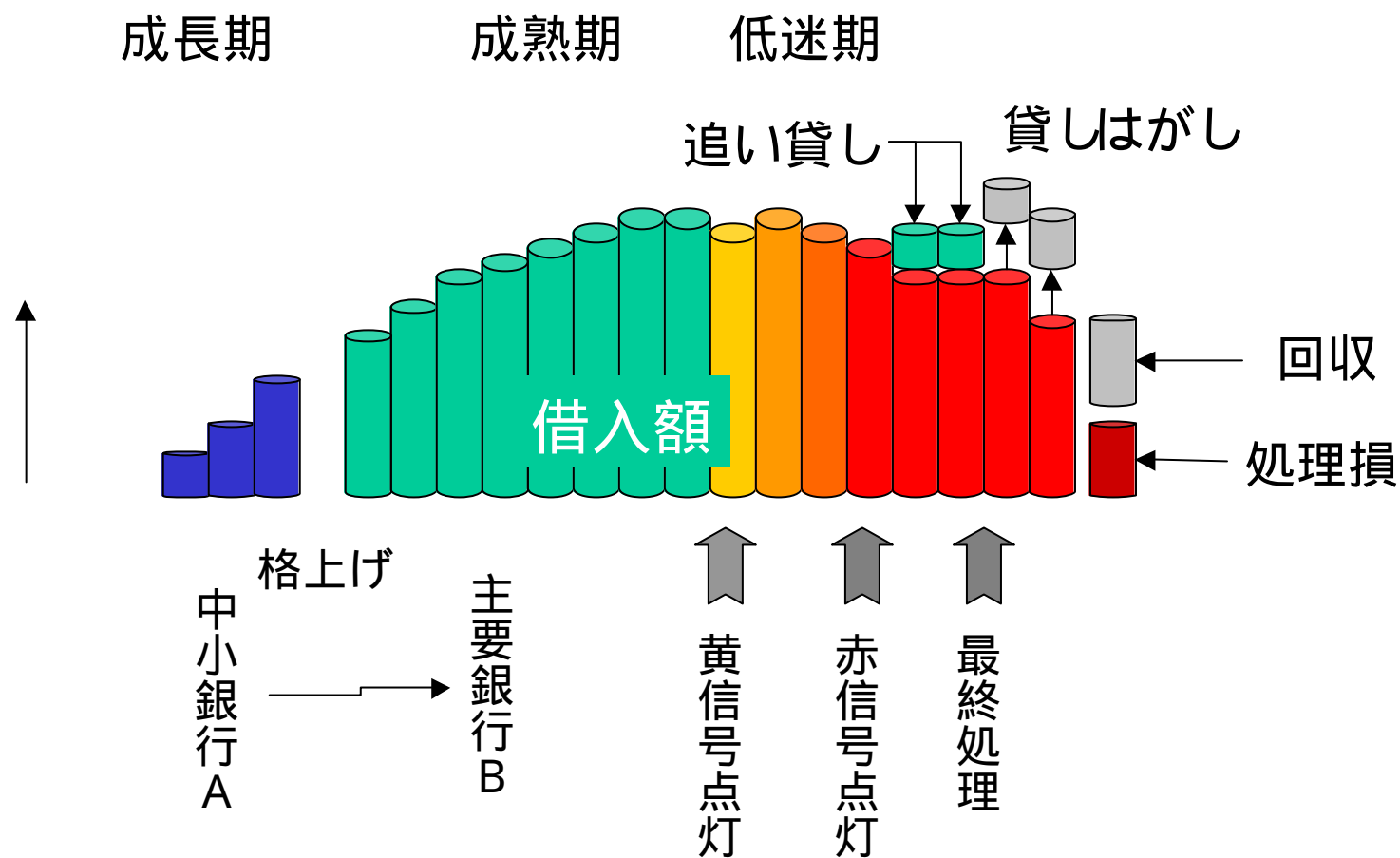
[問題意識]

- 銀行に審査能力はあるのか？
- 銀行は中小企業に特に厳しいのか？
- 金融システムのあり方はどうあるべきか？

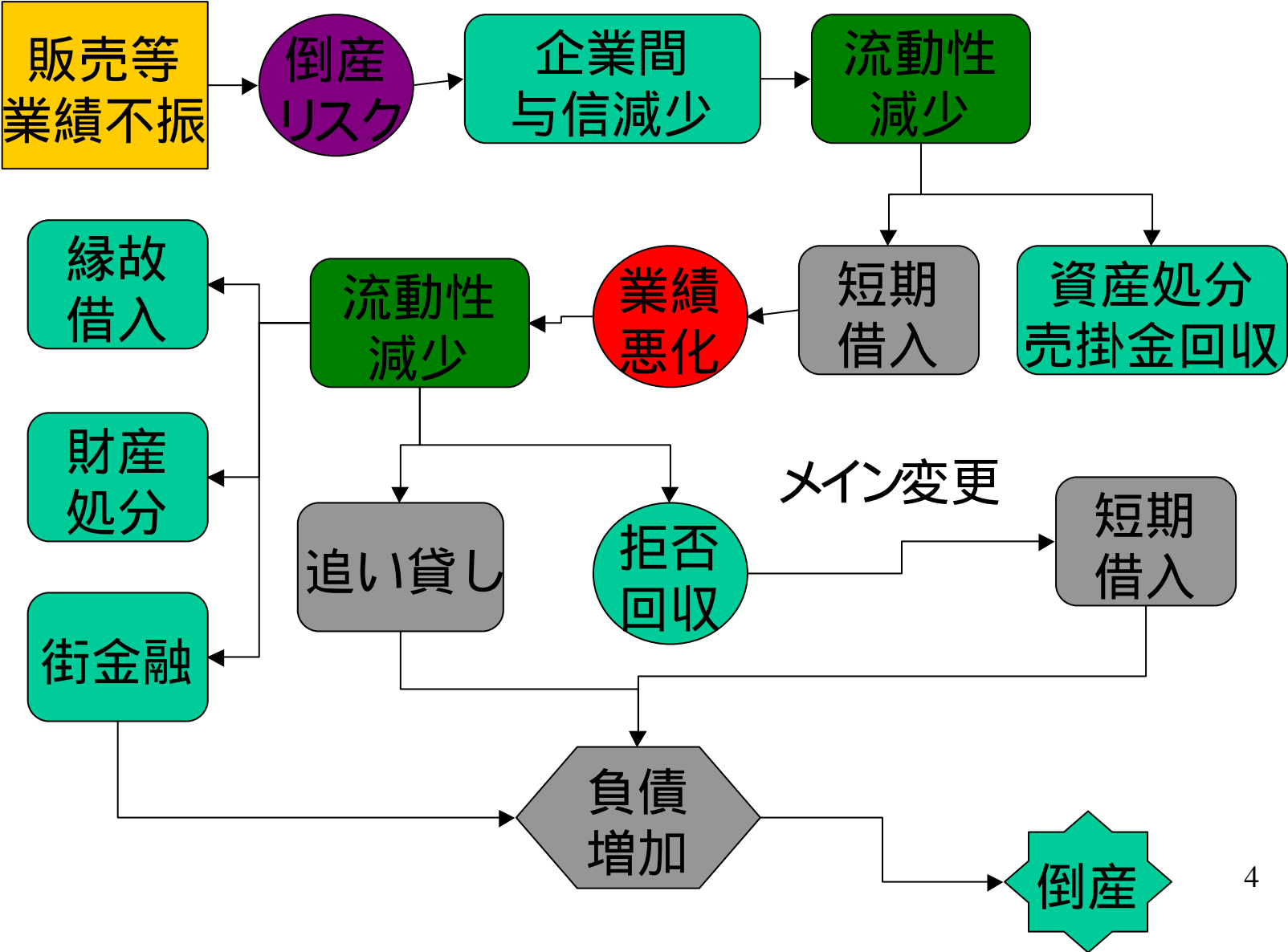
[検証データ]

- 帝国データバンクが整理した過去13年間 (1988年1月～2001年4月)に倒産した企業について、倒産に至るまで5年間の財務データを使用した。 本格的な分析データ
約18万件の倒産データのうち、倒産に至る5年間の財務データとメインバンク情報が完備した分析対象データは1,717件

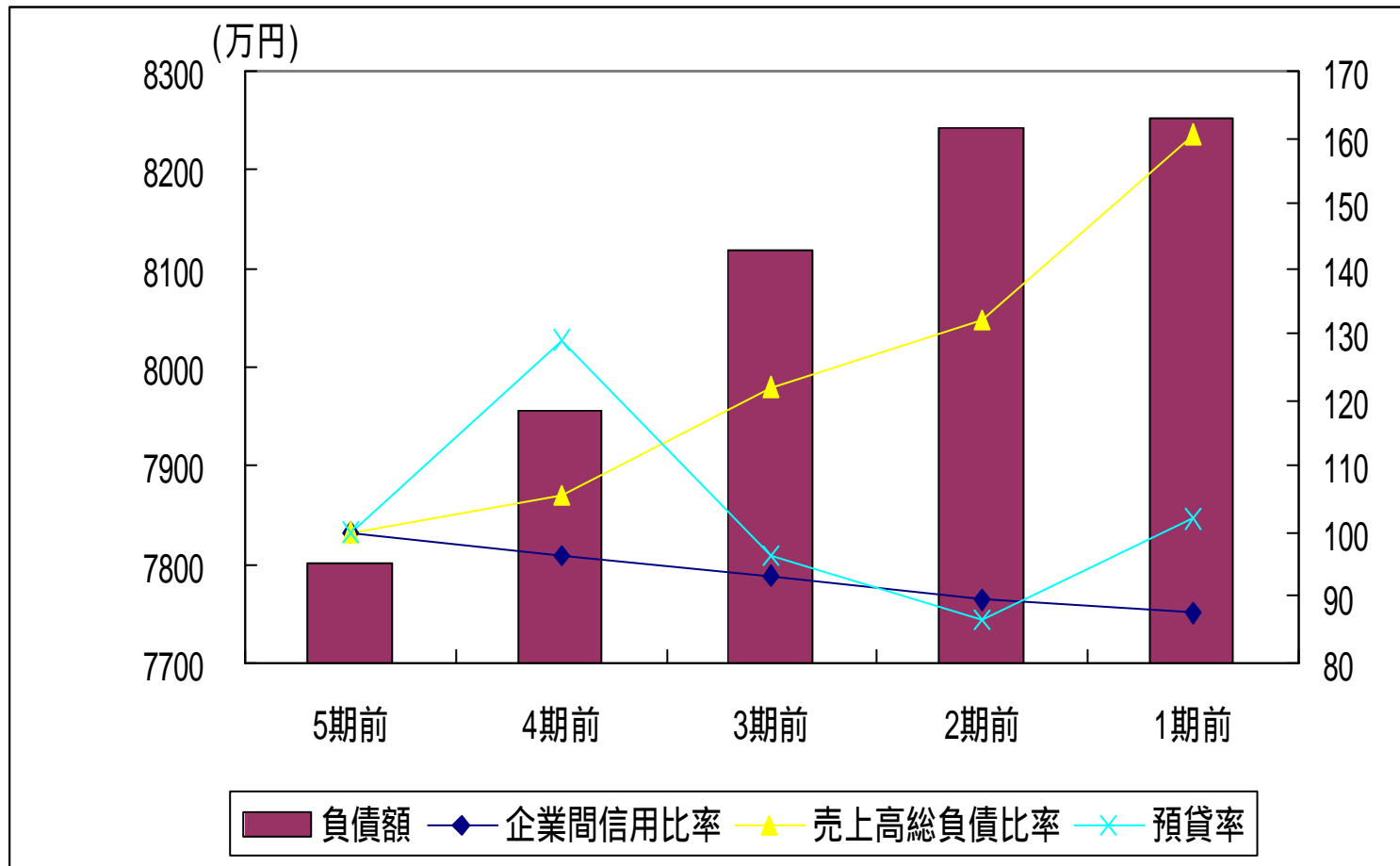
倒産企業の債務パターン：一般的理解



倒産企業のファイナンス行動



倒産直前まで債務は増加し続ける



なぜ倒産直前まで貸出が増加するのか

[ファクト]

- 企業間信用は5年前から減少、ただし 売上は直前まで増加
- 銀行借入は5年前から倒産直前まで増加 追い貸し?

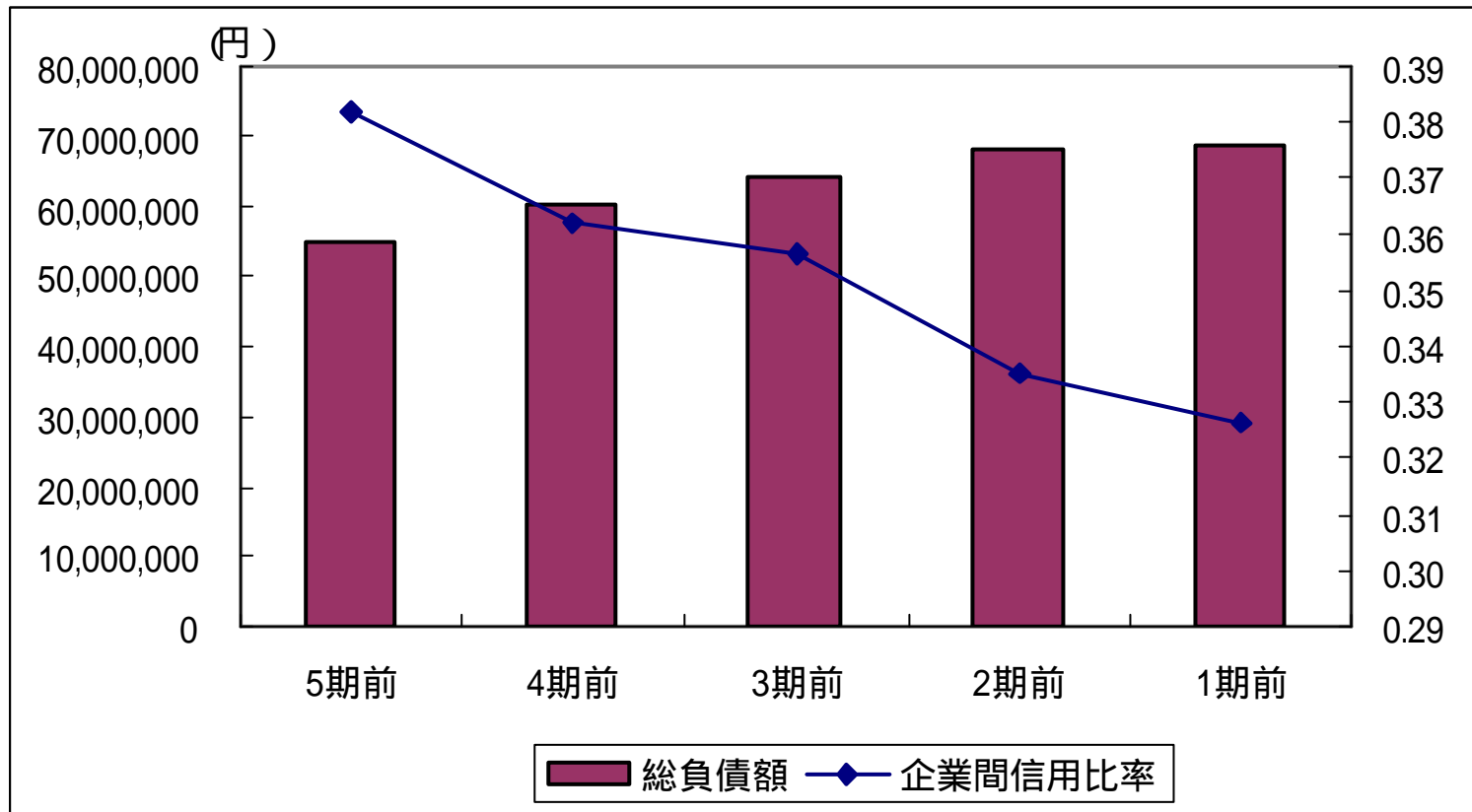
[貸出行動に関する可能な推論]

- メインバンク関係による優遇?
- 損失実現の延期行動? 延期オプション仮説
大企業 :倒産したときの被害額が大きい
中小企業 :生命維持装置を外すことと同じ
- 実態把握の失敗、審査能力の欠如? 情報生産機能への疑問

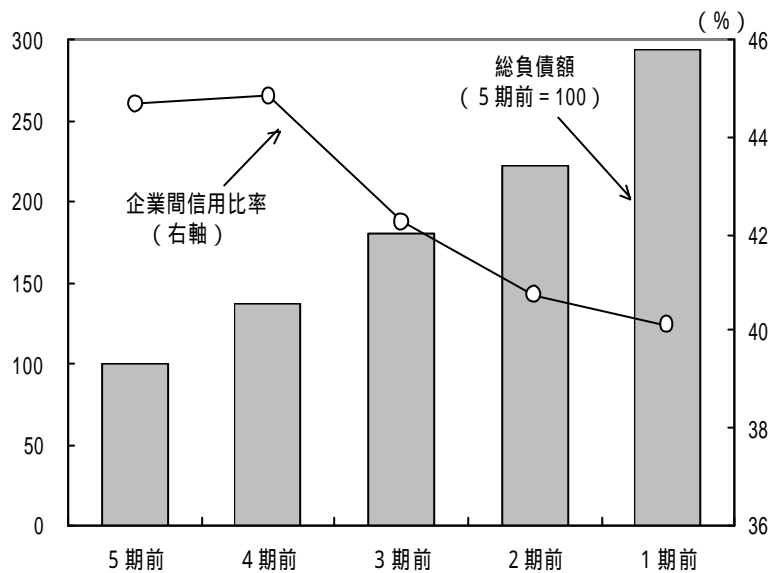
銀行は本当に情報生産を行なっているのか

メインバンク変更と負債額

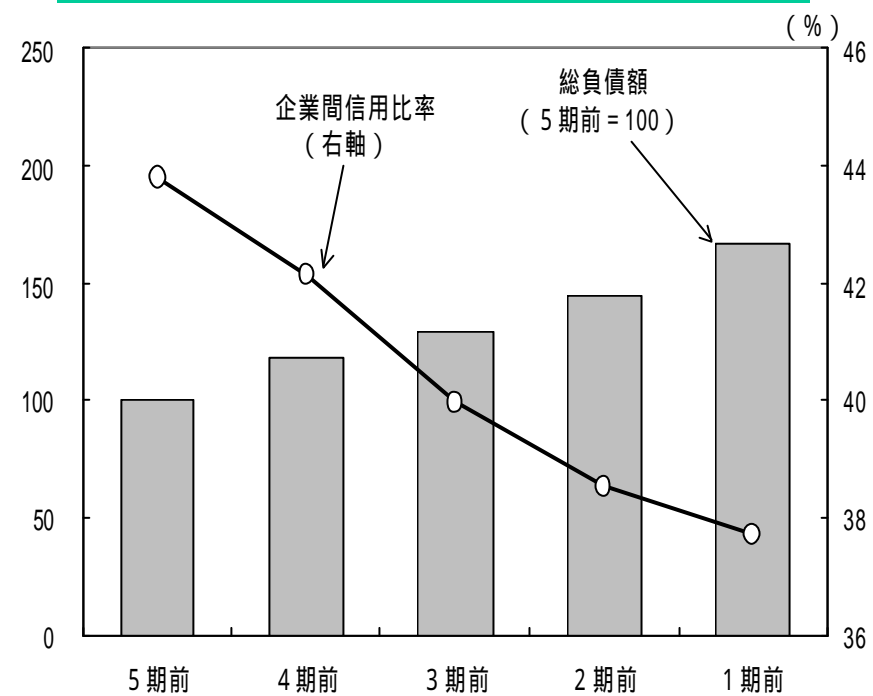
メインバンク変更あり 316社



(b) (大規模金融機関に変更)102社



(c) (小規模金融機関に変更)185社



なぜメインバンクを格上げできたのか

[ファクト]

- 上位の銀行に格上げしている
上位銀行のほうが審査が厳しいのでは？
- メインバンク変更後も借入は増加している
再審査されるので借入額は減るのでは？

[可能な推論]

- 銀行が騙されている？ 審査能力の欠如
たしかに、売上高は増加している！
- 親会社、取引会社が保証？

合理的な貸出行動か？

[ファクト]

- 検証サンプルのほとんどが中小企業、ただし、零細企業ではない

[疑問]

- 「追い貸し」よりも「損切り」のほうが合理的なはず？
なぜ、損切りができなかったのか？

[可能な推論]

- 銀行が騙されている？ 審査能力の欠如
銀行の情報生産能力に疑念
- 貸出を回収することは生命維持装置を外す(倒産に至らせる)こととなる 決断が鈍る？
銀行は中小企業に「厳しい」は肯定されない！

銀行には審査能力がないのか？

[ファクトからの疑念]

- 銀行には十分な審査能力がないのかもしれない？

[偏った結論？]

- 倒産した企業だけが分析されている
不良学生ばかりをサンプルにして教育の成果を否定できるか？



審査能力に関する再検証の必要性

公表財務データから倒産を予知できるかを検証

仮説 :銀行はより詳細で長期的な情報をもっているので予知能力に劣るはずがない

ロジットモデル				
5 期前		予測		
		倒産	非倒産	合計
実際	倒産	371	80	451
	非倒産	122	329	451
	合計	493	409	902
正判別率		700 / 902 = 77%		
4 期前		予測		
		倒産	非倒産	合計
実際	倒産	399	52	451
	非倒産	125	326	451
	合計	524	378	902
正判別率		725 / 902 = 80%		
3 期前		予測		
		倒産	非倒産	合計
実際	倒産	381	70	451
	非倒産	125	326	451
	合計	506	396	902
正判別率		707 / 902 = 78%		
2 期前		予測		
		倒産	非倒産	合計
実際	倒産	290	161	451
	非倒産	96	355	451
	合計	386	516	902
正判別率		645 / 902 = 72%		
1 期前		予測		
		倒産	非倒産	合計
実際	倒産	281	170	451
	非倒産	97	354	451
	合計	378	524	902
正判別率		635 / 902 = 70%		

建設の倒産はほぼ100% 予知できる

図表9 業種別平均・判別率（4期前）

業種		正判別率	誤判別率
製造	倒産	84%	16%
	非倒産	75%	25%
建設	倒産	97%	3%
	非倒産	80%	20%
卸売	倒産	84%	16%
	非倒産	83%	17%
その他の 非製造	倒産	90%	10%
	非倒産	59%	41%

出所)塩貝[2001]

倒産企業の予知は可能！

[ファクト]

- 公表財務データを使って5年前から高い確率で倒産が予知できる！

[結論]

- 「意図的な追い貸し」であることを認識していないとするならば
銀行の審査能力が不十分である疑念
- 銀行により高い審査能力があるとするならば 「意図的な追い貸し」
損失を実現させるのを延期するインセンティブがある
回収 = 倒産に至るので決断が鈍る(「消極的追い貸し」)
相対型金融には「追い貸し」行動が内蔵されている？

相対型金融と市場型金融

- 相対型金融取引では、産業資金供給が景気の変化に非感応的になりやすい
景気下降局面で過剰になりやすい(「追い貸し」が内蔵)
- 相対型取引の開始は慎重、開始後は審査コストが嵩むことから長期安定的な関係を維持することが合理的
準内部者になりやすい 「追い貸し」に陥りやすい
- 市場型金融取引では投資家の期待形成に感応的。機関化により順張りが支配的な場合は価格は景気後退局面で過大に下落するので産業資金供給は過少になりやすい

相対型と市場型のバランスあるシステムが望ましい！

バランスのある金融システムをめざして

- 相対型金融システムはカウンターサイクル
市場型金融システムはプロサイクル
- 中小企業は情報の非対称性が大きい
中小企業向け金融は相対型金融のほうが向いている
- 金融市場の成熟化は市場型金融へのシフトを趨勢的に意味するが、かといって、市場型偏向も問題
- わが国金融システムの問題は相対型偏向にある オ
バーバンキングの解消の必要性